

市民ワークショップまとめ

①グループ共通事項まとめ



区分	共通点	内容
1. 対象者	幅広い年代・地域の利用	・子どもから高齢者まで幅広い世代や地域住民、観光客、子育て世代など、多様な利用者を想定している。
2. 空間・機能	地域施設の設置	・多目的空間やフリースペースなど、自由に使える空間を重視しており、世代や用途を問わず多様な人が集える施設の設置を求めている。
	広場の設置	・世代や用途を問わず多様な人が集える広場の設置を重視している。「交流」「防災」「子育て」「イベント」「自然体験」など、広場に複数の役割を持たせている。
	駐車場の設置	・新施設や周辺観光客に向けた駐車場の設置を望んでおり、駐車台数を確保するため立体駐車場とする意見もある。
	防災機能の設置	・エリアの特徴を踏まえて災害に対する備えを重視している。
3. 周辺連携	オリバストリートとの連携	・オリバストリートとの連携性強化を意識しており、観光客や地域住民の交流・回遊性を高めるための動線や施設配置を重視している。

②各班発表内容

A グループ 「たじみキャンパス」	
目的	・特定の目的を持つ来訪者やオリバストリートの観光客など、 さまざまな背景の方が利用 する場。
動線	・車両のアクセスを考慮して駐車場を設置する。 ・ オリバストリート方面からの歩行者が多く 集まる区域となるため、中央の道路を廃止して 広場化 する。
施設	・飛び地に防災倉庫および学習室等を設置する。 ・敷地の北側エリアは、全体を一体的な空間とし、日差しを遮る大屋根の導入や、採光・通風にも配慮したイベントに対応可能なスペースを目指す。 ・貸テナントスペースでは、市内の学生が利用できる 多目的空間 を提供する。 ・安らぎを求める利用者に配慮し、建物から周囲を見渡せる設計や、無料で利用できるスペースの有効活用も検討する。
駐車場	・ 防災対策 も踏まえた 立体駐車場 を設ける。水害を考慮して低層階の安全性を重視する。 ・周辺の施設に直接アクセスできるようにする。
B グループ ふらっとどっぷり芯まで浸かれるたじみ	
目的	・ 高齢者から若者まで集まれる みんなが過ごしやすい場所。 ・ オリバストリートなど他地域との連携 を重視。
動線	・オリバストリートと繋がる入口があると良い。
施設	・イベントスペースや 子育て広場 、控え室・救護室などサポート機能付きの場所、屋外ベンチ、 自由に過ごせるフリースペース 、ステージや飲食エリアを設ける。 ・ 芝生広場 やビオトープ、土岐川水族館、植栽学習スペースなど自然を感じられる場所を設ける。日よけや大屋根、高い建物によって日陰の確保に配慮する。 ・うながっぱ特大オブジェのような大型モデルの設置や門構えによる象徴性が必要。
駐車場	・ 立体駐車場 として、同一建物にプール、銭湯、多治見らしいタイル・陶芸体験等の施設を設ける。
C グループ 子育て＋若者が集う場所＋防災拠点	
目的	・ 子育てで世代や若者が集い 、安心して活動できる複合的な空間の創出。
施設	・託児所エリアには、保育サービス、託児所やクリニック等の保健・子育て機能を集約する。 ・ 芝生広場 は子どもたちの遊び場であると同時に、 防災拠点 としての役割も担う。防災倉庫やマンホールトイレ等の最新設備、加えて夏季の暑さ対策としてテラスを設置する。 ・図書館・自習室棟は、1階に学生が交流可能な フリースペース やカフェ、コンビニなどを設け、2階には集中して学習できる環境を整備し、地域の中高生の利用を見込む。 ・ 防災拠点機能 として災害時に利用可能なシャワー室の設置し、平常時はジム併設により有効活用を図る。 ・駐輪場を設置し、周辺高校等の学生は無料で利用できるよう配慮する。
駐車場	・ オリバストリート観光客向け に図書館・自習室と連動した 150 台規模の 立体駐車場 を設ける。

Dグループ	マウンテンでファウンテン
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まれるイベントスペースや自由に遊べる広場。 ・涼しさを感じられる川や水のある空間。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なイメージの一例として、笠原のモザイクタイルミュージアムに着想を得た山型のドームを設け、その内部に土岐川観察館のような展示空間やイベントスペース、ステージ、レンタルスタジオなどを配置する。 ・ドーム屋上には展望台を設け、滝と連動した親水空間も計画する。 ・山側道路の前には芝生の広場や、多店舗・出店スペースなど幅広く利用できる場を設け、現在の駐車場部分には大阪万博の大屋根リングを参考にしたテラス屋根エリアを設置する。 ・日陰やベンチを整備し、イベントにも対応可能な環境づくりを目指す。 ・既存の市役所機能の配置や細長いスペースも活用できるような配置を検討する。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや駐車場は通路スペースに設置する。
Eグループ	賑わい、暮らし、繋がり
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「繋がり」を重視。
動線	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路の配置は、既存の位置に捉われず、都市計画の中で柔軟に対応する。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎部分には屋外広場を新設し、子どもが遊べる自由な空間とする。 ・4階建ての建物の中に、1階は市役所支所や子育て支援施設など、2階には学習スペースや音楽室、健康関連スペース、3階には多目的レンタルスタジオやフリースペース、就労支援スペースも設ける。最上階には体育館程天井高が必要でない室内スポーツ(テニス・卓球等)やジムなどの運動施設を導入する。 ・飛び地2か所は防災倉庫や学習室とし、防災意識を高める用途とお祭り用品の保管や一時退避場所としても使用できるように活用する。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の駐車場は立体駐車場へと転用する。 ・駐車場はイベント時にも利用できるよう、多目的駐車場として設ける。(例:イベント広場、オープンテラス、キッチンカー用スペース、トイレなど)
Fグループ	気楽座
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかで世代を問わず気軽に交流・悩み相談できる場。
動線	<ul style="list-style-type: none"> ・オリバストリート等との連携性を高めるため、まち仲広場からオリバストリートや銀座通りにつながるウォーキングルートの形成を目指す。ウォーキングルートでは、陶芸作品の展示やスタンプラリーなどを通じて、多治見の歴史や特産品に触れられる機会を提供する。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・全体構成は、中心の「まち仲テラス」を核として、多目的広場とまち仲広場がつながるよう計画する。 ・まち仲広場には、テラス付きの飲食店やイベント用ステージなどの設置、水流を利用した流水広場の導入も検討する。 ・多目的建物は、フリースペース、自由自習室、子供向け遊具など多様な用途を想定する。